

◆授業のポイント◆

- ・ 対象を比較・分析して批評する力を高める授業の工夫
- ・ 比較・分析した内容を文章にまとめる工夫

## 国語科学習指導案

学 級 3年2組 (男子21名 女子19名 計40名)  
 場 所 3年2組教室 (3年棟2階)  
 授業者 教 諭 竹 下 直 大

1 単元 生き方を見つめる (全9時間)

2 題材 「形」

3 本時の実際 (4/9)

(1) 目 標

- ・ 原典と比較して分析したことをもとに、「形」について批評する文章を書くことができる。

(2) 展 開

過程	主な学習活動	時間 形態	○指導上の留意点◎評価※授業のポイントについて
導 入	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習目標と学習の進め方を確認する。	3 一斉	○ 学習目標を提示するとともに、学習の進め方を明確にする。
	「形」と「形」の原典とを比較して、「形」について批評する文を書こう		
展 開	3 「形」の原典を提示する。	2 一斉	○ 口語訳付きの原典を配布する。
	4 「形」と原典を比較し、その違いを確認する。	8 一斉	※ ワークシートに「形」と原典との違いとして次の2点をまとめる。 ・ 「形」では、原典の或人をより具体的な存在として登場させている。 ・ 「形」では、原典にある訓辞的な部分を省略している。
	5 「形」について考えをまとめ、そう判断したり、評価した根拠を明確にする。	5 個	○ 原典を変更した作者の意図を、理由や根拠等を明確にして考える。
	6 批評する文章のモデルを提示し、まとめる際のポイントを押さえる。	7 一斉	※ 批評する文章をまとめる際の条件を明確にする。 ・ 立場を明らかにしているか。 ・ 立場に対する根拠が明確であるか。 ・ 構成が論理的であるか。
	7 批評する文章をワークシートにまとめる。	15 個	○ 個別指導を行い、書けない生徒には立場に対する根拠を明確にするように指導する。
	8 グループ内で交流する。	5 グループ	◎ 形を批評する文章を書くことができたか。 ○ 論理の展開に無理がないか、グループ内で交流させる。
	9 数名の生徒の発表を聞く。	3 一斉	○ 適切な論理の展開がなされている生徒を数名教師が指名して発表させる。
終 末	10 次時の内容の予告をする。	2 一斉	○ 本時のまとめをし、次時への意欲をもつ。

(3) 評 価

- ・ 原典と比較して分析したことや文章モデルを参考に、「形」について批評する文章を書くことができたか。